

最優秀賞は松浦氏

第13回施工技術発表会



塩原会長



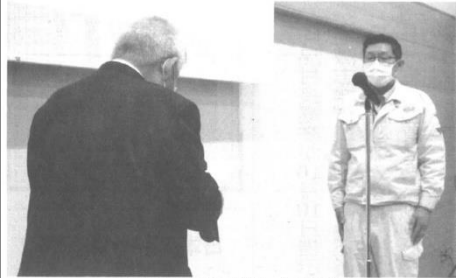
池原副会長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塩原聡会長）は17日、群馬建設会館で13回目となる施工技術発表会を開催した。12支部の会員企業から土木工事12件、建築工事3件の計15件について事例が発表され、関東建設工



後藤課長

業の松浦秀幸氏が最優秀賞を受賞した。また、女性の目線で建設現場の快適さをチェックする環境すみずみコンテストも実施。12支部それぞれで特に優れた取り組みを行っていた現場を表彰した。発表会は12支部へのWeb配信を行いながら開催された。池原純副会長は「発表会は今回で13回目となり、どの工事もレベルアップしてきたこと



最優秀賞を受賞した松浦氏

がわかる」と青柳会長のあいさつを代読。塩原会長は「優れたノウハウを学ぶことは良質な社会資本整備にもつながる」と話した。

審査後には、国土交通省渡良瀬川河川事務所の大原一幸副所長が「生きた施工技術が積み重ねられていくのは素晴らしいこと。このような発表会が技術者や現場を助けることとなる」とたたえた。審査結果は次のとおり（敬称略）

【最優秀賞】
◇松浦秀幸（関東建設工業）

- 【優秀賞】
- ◇宮澤皓介（秋原工業）
- ◇古澤樹（塚本建設）
- 【優良賞】
- ◇井貝誠（原工業）
- ◇川端博昌（田中建設）
- ◇小黒春樹（南波建設）
- ◇藤嶋拓朗（ヤマト）
- ◇塩野岳憲（上毛緑産工業）

施工技術発表会15社発表

松浦さん最優秀 関東建設工業

表彰される松浦さん



建設現場での創意工夫や新技術活用成果を披露する施工技術発表会が17日、前橋市の群馬建設会館を拠点に開かれた。県内12支部から選ばれた15社が発表し、最優秀賞に関東建設工業（太田支部）の松浦秀幸さんが輝いた。松浦さんは太田市に建設したごみ処理施設

の施工例を発表。地下深くを掘ることから漏水対策を徹底したことや、コンクリートの劣化を抑えるために気泡を出さない施工をしたことを紹介。「新しい工法と材料を使用して建物自体の耐久性を高め、長く使い続けられる施設ができた」とした。発表会は新しい工法

や工夫を学び、プレゼンテーション能力を高めてもらおうと県建設業協会と県土木施工管理技士会が開催し、13回目。県内各支部から約300人が出席した。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り。（敬称略。かつこ内は支部名と発表者）

- ▽優秀賞 秋原工業（安中、宮沢皓介）塚本建設（藤嶋、吉沢樹）▽優良賞 原工業（館林、井貝誠）田中建設（伊勢崎、川端博昌）南波建設（吾妻、小黒春樹）ヤマト（前橋、藤嶋拓朗）上毛緑産工業（渋川、塩野岳憲）